

一般社団法人桶川青年会議所
2023年度 運営方針

一般社団法人桶川青年会議所
第50代理事長 森田 将矢

「Re: START」

～ジモト愛で繋ぐ新たな半世紀～

<はじめに>

1973年、中山道の宿場町として発展した緑豊かな桶川の地に集う青年経済人の発起と、社団法人上尾青年会議所（現公益社団法人埼玉中央青年会議所）のご支援、ご指導により、全国で542番目となる青年会議所として一般社団法人桶川青年会議所は産声をあげました。そして、先輩諸兄姉の皆様が「修練」「奉仕」「友情」の三信条のもと活動して、情熱と挑戦のバトンが、ここまで脈々と繋がり、本年度創立50周年を迎えることが出来ました。

ここまで長い間バトンを繋げられたのも、ジモト愛溢れる情熱を持った先輩諸兄姉の皆様が、地域発展に貢献し続けてきたおかげであると敬意を表すると共に、多大なるご支援、ご協力をいただいております桶川市をはじめとする行政、桶川市民、関係諸団体の皆様に改めて感謝申し上げます。

Re: START。今が未来を変えていく。自己研鑽と相互啓発で己が力を高め、地域への奉仕を通して、新たな半世紀、これからの明るい豊かな桶川の未来を創造していきます。

<創立50周年～ジモト愛で繋ぐバトン～>

桶川市とその周辺地域を活動エリアとする一般社団法人桶川青年会議所は、本年度創立50周年を迎えます。

産声をあげてから半世紀という大きな節目に際し、これまで一般社団法人桶川青年会議所の歴史を創りあげてこられました多くの先輩諸兄姉の皆様、行政、桶川市民、関係諸団体の皆様、そして全ての方々への感謝を忘れず、脈々と引き継がれているジモト愛を継承すべく行動して参ります。

現在、一般社団法人桶川青年会議所のメンバーは12名ですが、地元桶川以外の出身者が8名となっております。それでも、桶川という地で青年会議所活動を行うのは、たとえ地元出身でなくとも、ジモトに愛を持っているメンバーが多く在籍しているからと考えます。どれだけその地域が好きかということに、出身者も出身者ではない者も変わらないはずです。

生まれも育ちも桶川という地元の方だけでなく、幅広い方々に桶川という地域を“良くし

ていきたい”、“発展させていきたい”と思う「ジモト愛」溢れる人を、青年会議所活動を通して増やしていく事で、地域に必要な唯一無二の団体として、新たな半世紀のバトンを繋いでいく事を目指していきます。

<地域課題への取組みと未来に向けた街創り～ジモト愛を深める～>

桶川市は現在、10年前より世帯数が3,000世帯増加にも関わらず、人口は1,000人以上減少し、平均年齢は約48歳となっております。埼玉県は、全国一のスピードで少子高齢社会に突入されることが予想され、これは桶川市も免れない事となっております。超高齢化や少子化により単身世帯が増え、さらには新型コロナウイルス感染症によるパンデミックの影響で、地域での活動や繋がりが極めて希薄になっています。

また、事業者についても事業承継やSDGs等これからの社会に対する対策など様々な問題を抱えております。この状況を打破するべく、世代を超え大人から子供まで幅広い対象でそれぞれ参加出来る体験型事業を行い、ジモトの魅力感じてもらうことが肝要です。また、地域経済を担う事業者の方々については、昨今問題となっている事業承継やSDGs等の知識の周知を広めるべく講演会の場を率先してご提供することで、ジモトで事業を行う魅力を感じてもらえる取組みを行う事が必要と考えます。

そして、事業を行うにあたって必要となってくる資金について、市の催しに参加することで収益化を見込める事業を行います。

桶川青年会議所として魅力と価値のある事業を創造し、ご参加していただいた方に共感していただく事で、大きな資本がなくとも成功に導く事が出来るはずです。

一般社団法人桶川青年会議所は、多様な市民や事業者へのジモト愛を深めてもらえる事業を継続的に行う事を目指します。

<SNSで魅力を発信～ジモト愛を拡散させる～>

バズる。携帯で情報を見ている、テレビでニュースを見ている、ここ数年良く聞くフレーズです。現在、一般社団法人桶川青年会議所ではHPとTwitter、FacebookのSNSアカウントを持っていますが、上手く情報発信が出来ていないのが現状です。幾ら良い事業を行ったとしても、一部の参加者しか魅力を感じなければ、中々ジモトの魅力を伝播、発信することは難しいと考えます。よって、地域社会に対してジモトの魅力と桶川青年会議所の影響力を上げるためには、新たにInstagramも含めたSNSを上手く使い情報の発信をする事が必要だと考えます。

桶川青年会議所という団体に関しブランディングを行い、地域住民の方をはじめとする幅広い人々に、SNSを使って周知させる事を目指します。

<人財育成～ジモト愛を育む～>

現在、一般社団法人桶川青年会議所は、入会3年未満のメンバーが半数以上を占めます。メンバー一人一人の成長が急務であり、今が未来を変えるということを念頭に、自己研鑽と相互啓発が必要となります。バトンをこれからも繋いでいくためには、想いを一つにし、共に行動していく仲間がいなくては成し遂げることが出来ません。

京都会議やサマーコンファレンス、全国大会等、多くの同士が集まるイベントに積極的に参加し、様々な人と出会い、学ぶ事で、新たな価値観と知識、仲間を得る事が重要です。

人材こそが最大の資産であり、「人財」と考えます。青年会議所の運動は、志を同じうする者が集まり力を合わせる場であり、培われた力は家族や会社、地域等にリーダーとして奉仕していくという意味も込められています。この意味を真摯に受け止め、周囲に対し能動的に運動発信出来る人財を育成して参ります。

ジモトへの愛を育むことが、人財育成への一歩と考え、メンバーにも更に桶川の魅力を感じてもらい、自発的行動と成長を促すことを目指します。

<会員拡大～ジモト愛を伝播させる～>

私たち桶川青年会議所は、明るい豊かな桶川の未来を創造していくために運動を行っています。しかし、一時は増加した会員も、昨今では会員の減少が続き、マンパワー低下の問題が如実に表れているのが現状です。本来であれば、ここに至る前に将来について決定しなければならなかったのかもしれませんが。正直、この人数で例会を行うのはメンバー一人一人の負担が大きくなり、それぞれの仕事や家庭に支障をきたす恐れがあるのが実情です。

この問題を解決するには、再度会員拡大をする他ありません。青年会議所とは、若く熱い力で街をより住みやすく、魅力的に創り上げる事を率先して行える団体であると共に、国際的で海外との繋がりを持てる団体であると考えます。青年会議所活動は、リーダーとしての行動や考え方、事業を企画し実行する能力、計画を書き出す力、管理力、国際的目線、仲間作りといった自らの事業を営んでいく上で、大切な事を学び得られる場です。

本年度は理事長・専務理事・直前理事長が中心となって青年会議所の魅力を対外に発信し、会員拡大に全力を尽くします。

もし、会員拡大出来ずこのまま減少していくことがあれば、何らかの方法でLOMを合併や解散するしかありませんが、それもすぐに出来るわけではありません。その為にはやはり、現役メンバーの努力は勿論、桶川青年会議所OBの皆様のお力添えが肝要です。桶川青年会議所が50年間存続出来たのは、先輩諸兄姉の皆様のジモト愛が常にあったからこそだと思っています。そのような先輩諸兄姉の皆様だからこそ、今の一般社団法人桶川青年会議所の窮地に対し、必ずお力を貸してくれると確信しています。

Re: START。新たな半世紀にバトンを繋ぐ今こそ、桶川青年会議所に関わったジモト愛溢れる全ての人たちの力が問われている時です。

<結びに>

新型コロナウイルス感染症が拡大してから 3 年が経ちます。日本中が混乱し、その中で私たちは、どんな変化をし、何を失い、何を得ることが出来たのか。思うように活動出来なかった 3 年間でしたが、ジモト愛の火は消えていません。ビヨンド・コロナ。パンデミックを乗り越えた私たちは新たな角度から物事を捉え、活動することが出来ると確信しています。

そして、本年度創立 50 周年を迎える一般社団法人桶川青年会議所は、先輩諸兄姉の皆様によって紡がれたバトンを、これまでの歴史や経験をさらに発展させていくことで、新たな半世紀、100 周年を迎えても尚輝く青年会議所を創るべく、JAYCEE としての使命を自覚しジモト愛を持って、活動に邁進していきます。

ここから始める、Re: START。

事業計画

1. 中・長期計画の策定

1. 創立 45 周年中期計画の検証

1. 創立 50 周年記念式典の開催

1. 創立 50 周年記念誌の作成及び発刊

1. 地域市民、地域事業者への体験型、講演会型事業の開催

1. 市の催しを活かした収益事業

1. SNS を使った広報活動

1. 未来を切り拓く人財の育成

1. 会員拡大